栃木地方最低賃金審議会

議事録

議事要旨

(整理番号 0701)

第1回 栃木地方最低賃金審議会

令和7年7月4日 公開

開催日時	令和7年7月4日(金)	14時00分～14時50分	
開催場所	宇都宮市明保野町1-4 宇都宮第2地方合同庁舎5階大会議室		
開催状況	公益を代表する委員	出席 3人	定数 5人
	労働者を代表する委員	出席 5人	定数 5人
	使用者を代表する委員	出席 3人	定数 5人
主要議題	1 栃木県最低賃金の改正決定について(諮問) 2 栃木県最低賃金専門部会について 3 最低賃金法第25条第5項及び第6項に基づく関係労使の意見聴取について 4 栃木地方最低賃金審議会特別小委員会の設置について 5 その他		

議事録・議事要旨	議 事 録
----------	-------

事務局	<p>只今から、令和7年度 第1回栃木地方最低賃金審議会を開催いたします。</p> <p>本日は、令和7年度の第1回目の審議会であると同時に、本年4月から再来年3月までの2年間を任期とする第55期の委員による第1回目の審議会でもあります。</p> <p>第55期の会長が選任され、会長による議事進行に入るまでの間は、事務局において進行させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、暑い時期での審議となりますが、地球温暖化対策の一環として、冷房の設定温度をやや高く設定し、クールビズを励行しておりますので、委員の皆様におかれましても、軽装での御出席、御審議をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>一方で、熱中症対策にもまた十分に留意しなければなりませんので、体調がすぐれない場合はもとより、あまりにも暑いと感じるよう</p>
-----	--

<p>事務局</p> <p>局長</p>	<p>であれば、どうぞ遠慮なくお申し出ください。</p> <p>— 定数の確認 —</p> <p>公益代表委員の荻原委員、和田委員、使用者代表委員の井上委員、中原委員が欠席。</p> <p>委員 15 名中 11 名の出席があり、最低賃金審議会令第 5 条第 2 項に定める 3 分の 2 以上の定足数を満たし、本会議が成立していることを報告。</p> <p>— 傍聴者の報告 —</p> <p>本日の審議会は、栃木地方最低賃金審議会運営規程に基づき公開とされ、公告の結果 10 名の傍聴申込みがあり、8 名が傍聴することを報告。</p> <p>また、報道機関の取材申し込みはなかったことを報告。</p> <p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>はじめに、栃木労働局長からご挨拶を申し上げます。</p> <p>本日は、大変お忙しい中、令和 7 年度第 1 回栃木地方最低賃金審議会に御参集いただきまして、誠にありがとうございます。また、日頃より、最低賃金制度をはじめ労働行政の円滑な運営に御理解と御協力を賜っておりますこと、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、ご承知のことと存じますが、最低賃金の改正につきましては、前政権において「2030 年代半ばまでに全国平均 1500 円」という目標が掲げられていましたが、現政権ではこれをさらに前倒しし「2020 年代までに 1500 円」を目指すとの高い目標が掲げられています。</p> <p>こうした政府方針を踏まえ、先月 13 日に閣議決定されました「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画 2025 年改訂版」及び「経済財政運営と改革の基本方針 2025」（いわゆる骨太の方針 2025）では、「賃上げこそが成長戦略の要」と明確に位置付けられ、最低賃金につきましても以下のような方針が示されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な価格転嫁と生産性向上を支援しつつ、2020 年代に全国平均 1,500 円の達成に向け、官民一体で最大限の取組を今後 5 年間集中的に実施すること。 ・「中小企業・小規模事業者の賃金向上推進 5 か年計画」に基づき、価格転嫁・取引適正化の徹底、中小企業・小規模事業者の生産性向上、事業承継・M&A に関する環境の整備、人材育成と処遇改善など様々な支援策を講じていくこと。 ・EU での最低賃金の設定方法も参照しつつ、我が国の制度や雇用慣行の違いにも留意しながら、法定 3 要素に基づき、中央最低賃金審議会で議論いただくこと。 ・地方最低賃金審議会において中央の目安を超える最低賃金の引上げが行われた場合は、政府が補助金による支援を行うことな
----------------------	--

	<p>どにより、生産性向上に取り組み、最低賃金の引上げに対応する中小企業・小規模事業者を大胆に後押しすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域間格差の是正にも取り組むこと。 <p>こうした政府の思い切った方針や、新たな支援策の導入により、地域別最低賃金の引上げは、世間の注目度も年々高まってきております。</p> <p>本日の審議会では、栃木県最低賃金の改正決定を諮問させていただきます。その後、委員の皆様には御審議を重ねていただき、答申をお願いすることになります。</p> <p>ご承知のとおり、地域別最低賃金は「地域における労働者の生計費」「労働者の賃金」「事業の賃金支払い能力」を総合的に勘案して定めることとされています。</p> <p>委員の皆様には、大変な御苦勞をおかけいたしますが、ぜひ忌憚のないご意見を交わしていただき、審議賜りますよう、お願い申し上げます。</p> <p>厳しい暑さの中での集中的なご審議となりますが、最低賃金は、国の重要施策であると同時に、働く方々の生活の基盤であり、事業者の経営の根幹にも関わることです。</p> <p>何卒よろしくお願いたします。</p>
事務局	<p>次に、先ほども申し上げましたとおり、本日は令和7年度の第1回、かつ、第55期委員としての初めての場となりますので、改めまして委員の皆様を公益代表、労働者代表、使用者代表の順に御紹介させていただきます。</p> <p>— 委員紹介 —</p>
事務局	<p>事務局においても、職員の異動がありましたので、紹介させていただきます。</p> <p>— 事務局紹介 —</p>
事務局	<p>続きまして、次第の4「会長及び会長代理の選出」でございますが、最低賃金法第24条第2項及び第4項の規定におきまして、「公益を代表する委員のうちから各代表委員が選挙すること」とされております。</p> <p>当審議会におきましては、例年、公益を代表する委員より事前に御協議いただいた候補者をこの場で御報告させていただきます。各委員の皆様にお諮りしておりますが、本年度におきましても、先ほど公益代表委員の控室においてご協議いただいておりますので、その結果を今この場で御報告させていただきます。各委員の皆様にお諮りするというところでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>— 異議なし —</p>

事務局	<p>ありがとうございます。 それでは、公益代表委員の事前協議結果につきまして事務局から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。 本審議会に先立ちまして、公益代表委員の皆様にお早めにお集まりいただき、今期の会長及び会長代理について事前にご協議いただきました。 また、本日ご欠席の公益代表委員には、メールでご意見を伺っております。 その結果、会長候補に藤井委員、会長代理候補に黒川委員がそれぞれ推挙されましたことをご報告いたします。</p>
事務局	<p>只今、会長候補に藤井委員、会長代理候補に黒川委員がそれぞれ推挙されたとの報告がございましたが、この報告のとおり、会長を藤井委員、会長代理を黒川委員にお引き受けいただくということで皆様のご意見はいかがでしょう。</p>
各委員	<p>— 異議なし —</p>
事務局	<p>ありがとうございます。 労使それぞれから特段のご意見もなく「異議なし」の声をいただきましたので、全会一致をもって会長に藤井委員、会長代理に黒川委員に御就任いただくことということで決議いたします。 それでは、只今御就任いただきました藤井会長に一言ご挨拶をいただき、引き続き、次第の5からの進行をお願いしたいと思います。</p>
藤井会長	<p>只今、会長という大役への就任を皆様にご承認いただきました藤井でございます。 物価の高騰は依然として労働者の生活を圧迫し続け、使用者も資材や燃料費、人件費があがる中で厳しい経営を強いられる状況が続いています。国内だけでなく世界の情勢も先行きが見通しにくい状況となっています。 一方で、政府は骨太方針2025で「賃上げこそが成長戦略の要である」として、首相自らが積極的に発言し、地域別最低賃金に対するマスコミや世間の注目度・関心度も年々増大してきています。 労・使という立場の違いや業界による景況感の違いなどがあり、最低賃金に対する意見や主張が食い違うこともあると思います。立場はそれぞれ違いますが、栃木県内で働く労働者の生活をより豊かにし、県内で事業を営む経営者の生活と経営状況をよりよくしたいという思いは、ここにお集まりの委員の皆様や事務局の方々、傍聴の方々も含めて同じ思いであろうと思います。</p>

	<p>皆様のご意見やご主張に丁寧に耳を傾け、粘り強い審議を行い、意見の相違はありながらも、最後には「全会一致」が得られるよう、精一杯務めさせていただきたいと思えます。</p> <p>皆様におかれましてもご理解・ご協力の程、どうぞよろしく願います。</p>
藤井会長	<p>では、改めまして、ここからは私の方で議事を進めさせていただきます。</p> <p>なお、審議の運営等に当たりましては、「最低賃金法」、「最低賃金審議会令」の定めによるほか、「栃木地方最低賃金審議会運営規程」の定めにより行うこととします。</p> <p>最初に、議題（１）「栃木県最低賃金の改正決定について」です。</p> <p>本日は既に御案内のとおり、栃木労働局長より栃木県最低賃金の改正決定の諮問が行われることになっております。</p> <p>それでは、川口局長願います。</p>
局長・会長	<p>— 諮問文手交 —</p>
藤井会長	<p>只今、栃木県最低賃金の改正決定について、栃木労働局長より諮問文を受け取りました。</p> <p>事務局は、各委員及び傍聴人に諮問文の写しを配付してください。</p>
事務局	<p>— 諮問文（写）を配付 —</p>
藤井会長	<p>事務局は、諮問文を朗読してください。</p>
事務局	<p>— 諮問文を朗読 —</p>
藤井会長	<p>栃木県最低賃金の改正決定について、局長より最低賃金法第 10 条の規定に基づき諮問を受けました。今後、当審議会において調査審議を行うこととなりますが、本日は、事務局より審議を進める上で参考となる多数の資料が提出されておりますので、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。それでは本日お手元にお配りさせていただきました資料につきまして説明させていただきます。</p> <p>資料構成は基本的には例年と同様のものをご用意させていただくつもりであります。例年第 1 回目の資料として添付させております中央最低賃金審議会における目安諮問の際の資料につきましては、今回の資料には編綴されておられません。</p> <p>このことにつきましては、例年ですと 6 月下旬に行われる中央の目安諮問を皮切りに 7 月上・中旬に各地方労働局における諮問が行われ、それぞれの局において地賃改正審議がスタートするのが通例となっておりますが、今年度は中央の目安審議に係るスケジュールが大幅</p>

	<p>に遅れており、未だ目安諮問もなされておられませんので、目安諮問の際の資料も中央から未だ共有されていないといった状況です。</p> <p>中央から示される目安はあくまでも目安とはいえ、その根拠となった何種類ものデータやそれをどう分析・検討し結論を導き出したかといったような中央の考え方等は、地方審議においても大変参考になるものですので、委員の皆様にも第2回本審の資料として共有させていただくつもりでおります。</p> <p>他に今回お配りした資料としましては、この後ご審議いただく専門部会等の規定案、そして、栃木県内の経済状況を示すデータとして、自治体や財務事務所等が公表しているデータを付けさせていただいておりますが、それらは毎月更新されるものも多いので、更新版が公表されれば、最新のものをご提供させていただこうと思っております。</p> <p>また、事務局が用意させていただく資料の他に、委員の皆様から「独自資料として提出したい」といった場合、あるいは「こんなデータが欲しい」といったものがございましたら、可能な限り対応させていただきたいと思っておりますので、遠慮なく事務局にお声がけください。</p> <p>以上、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	資料について、御質問などございますか。
各委員	— 特になし —
藤井会長	<p>特に御質問等ないようですので、次に進みます。</p> <p>では次、議題(2)の「栃木県最低賃金専門部会について」です。</p> <p>最低賃金法第25条第2項の規定において、「審議会は最低賃金の改正の決定について調査審議を求められたときは、専門部会を置かなければならない」とされております。</p> <p>よって、先ほど諮問を受けましたことに伴い、まずは専門部会を設置することといたしますが、この専門部会の運営に係る基本的事項につきましては、「栃木県最低賃金専門部会運営規程」の作成を要しますので、その内容等について、委員の皆様にお諮りしたいと思います。</p> <p>ではまず、この運営規程の(案)について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	— 栃木県最低賃金専門部会運営規程(案)説明 —
藤井会長	只今の専門部会運営規程(案)について、御意見、御質問などはございますか。
各代表委員	— 意見、質問等なし —

藤井会長	特に御意見などないようであれば、専門部会運営規程（案）について、原案どおりとしてよろしいでしょうか。
各代表委員	— 異議なし —
藤井会長	<p>それでは、栃木県最低賃金専門部会運営規程について、原案どおり議決することといたします。</p> <p>この規程は、本日より適用することとします。</p> <p>お手元の運営規程の（案）を削除し、附則の施行期日に「令和7年7月4日」の日付を記入してください。</p>
藤井会長	<p>只今、専門部会規程が議決されたところですが、第7条「会議の公開」につきましては、昨年度に運用を見直し、これまでは「非公開」としてきた専門部会を中央の流れに準じて「一部公開」としたところ</p> <p>です。</p> <p>当審議会に限らず、公式な会議等の公開・非公開につきましては、内外様々な御意見があることは承知しておりますが、その後の中央の動きを含め、事務局の方で何か参考となる情報はありますか。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>当審議会における専門部会の公開・非公開につきましては、一昨年度より運用を見直し、本審同様、専門部会においても「公労使三者が集まって議論を行う部分については公開、ただし、三者が揃う場面であっても採決の場面は非公開。また、公労協議・公使協議といった二者による協議（いわゆる金額審議）についても非公開」としているところですが、一昨年度の運用見直し後においても「全面公開」を求める声はあり、労働団体等からの要請書等も引き続き提出されております。</p> <p>一昨年度の運用見直しは、中央最低賃金審議会及び同目安小委員会における見直しを機に検討し、中賃に倣って同様の見直しを行ったところではありますが、その後において、中央における再見直しの指示等はなく、また、中央においても一昨年からそのような運用に変更しましたので、今のところは中央でも「様子見」というような状況かと思われ</p> <p>ます。</p> <p>また、他局の賃金室長等と情報交換しますと、当局と同様に「一部公開」としている局が多く、公開できない理由としては、やはり専門部会における金額審議は、委員それぞれの立場において忌憚のない意見と申しますか、時には会社あるいは業界の実情をさらけ出しての主張となるため、そのような場を公開するとなると、そういった生々しい話もしづらくなることも懸念され、とはいえ、オブラートに包んだ意見や主張では、かえって公正な審議の妨げになる恐れがありますので、金額審議の部分は非公開とせざるを得ないといったような意見が殆どです。</p>

	<p>以上です。</p>
藤井会長	<p>現時点での中央や他局の状況等について説明がありました。皆さんから何か御意見はありますか。</p> <p>労働者側はいかがでしょう。</p>
労側委員	<p>現時点で中央からの特段の指示もなく、また、他局の審議会よりもかなり遅れた運用をしているというのであれば、今年はまだ様子を見ることとし、今後何か改善点が生じるようであれば、その際に再度見直すこととすればよろしいのではないのでしょうか。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、使用者側はいかがでしょう。</p>
使側委員	<p>専門部会における金額審議においては、実態や本音等を生々しく発言することもあり「忌憚のない発言をする」という点では、昨年同様に非公開とした方が発言しやすいと思いますし、こちら側の主張だけでなく、相手方の主張も含め、オブラートに包んだ言い方よりはストレートに言った方が真意も伝わりやすく、金額審議もより活発に行えると思いますので、昨年同様でよろしいかと思えます。</p>
藤井会長	<p>御意見ありがとうございました。</p> <p>事務局からの情報や、それを踏まえた労使それぞれのご意見についてまとめますと、当審議会としましては、今後の中央の動向や内外の意見・要望を注視し、改善できる点があれば必要に応じ改善していくという昨年同様のスタンスを保ちつつ、今年も昨年同様「一部非公開」として運用することとし、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公労使三者が集まって議論を行う部分については公開する。 ・公労使三者が集まって議論する場ではあっても、採決の場面においては、本審と同様に「採決の部分は非公開」とする。 <p>ということで進めたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>では、本年度におきましても、当専門部会の議事は「一部公開」として運用していきますので、よろしくお願ひします。</p>
藤井会長	<p>続きまして、同専門部会の決議事項についてですが、最低賃金審議会令第6条第5項の規定により、審議会において、あらかじめその議決するところにより、専門部会の決議をもって審議会の決議とすることができるとされております。</p> <p>当審議会においては、従前より専門部会の決議が「全会一致」である場合に限り、この規定を運用することとしておりますが、いかがい</p>

	<p>たしましょうか。</p> <p>特に御意見がないようであれば、従前どおり専門部会の決議が「全会一致」である場合に限り、この規定を適用することによろしいでしょうか。</p>
各代表委員	— 異議なし —
藤井会長	<p>それでは、専門部会の決議が「全会一致」である場合に限り、最低賃金審議会令第6条第5項により、これを審議会の決議といたします。</p>
藤井会長	<p>続いて、専門部会委員の推薦手続きについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>栃木県最低賃金専門部会の委員につきましては、労働者代表委員及び使用者代表委員の推薦手続きですが、本日の専門部会の設置を受けて委員の推薦に係る公示を速やかに行います。</p> <p>この推薦公示の期間につきましては、本省が示した事務取扱手引上「2～3週間程度で差し支えない」とされておりますので、推薦を受けてから任命までの手続きに係る事務処理の都合上、7月22日(火)までとさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p>
藤井委員	<p>只今の事務局説明について、御質問、御意見などありますか。</p>
各代表委員	— 質問等なし —
藤井会長	<p>では、事務局は公示等手続きをお願いします。</p> <p>なお、委員の推薦にあたりましては、女性委員の推薦について、御配慮をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、議題(3)「最低賃金法第25条第5項及び第6項に基づく関係労使の意見聴取について」ですが、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	— 関係労使の意見聴取(公示)について説明 —
藤井会長	<p>只今の事務局説明について、御質問などありますか。</p>
各代表委員	— 質問等なし —
藤井会長	<p>特に御質問などないようであれば、次に進みます。</p> <p>最低賃金法第25条第5項及び第6項では「審議に際し必要と認める場合においては、関係労働者、関係使用者その他の関係者の意見を聴くものとする。」とされ、この意見聴取の方法については、審議の場で聴取する方法と、審議会において実地視察を行って、視察先で聴取</p>

事務局	<p>する方法があります。</p> <p>このことに関し、参考までに昨年度の実施状況について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>はい。</p> <p>昨年度の意見聴取につきましては、令和5年7月5日に開催された第1回審議会における協議の結果、第2回審議会において意見聴取を行うこと、審議の関係上、1人当たりの意見発表時間は5分程度で、意見聴取全体の時間を10分程度とし、発表者の発表要旨の資料は事前に提出して意見発表をしていただくことになりました。</p> <p>また、応募多数等により意見を発表していただく団体の選定が必要となった場合には、準備の都合上、その選定は「会長一任」としたところです。</p> <p>昨年度は、結果として8団体から意見書の提出があり、2団体お二人の方々からの意見発表が行われました。</p> <p>また、実地視察につきましては、必要性や審議日程等を勘案し、実施は致しませんでした。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>只今の事務局説明のとおり、昨年度は第2回審議会において意見聴取が行われておりますが、本年度はいかがいたしましょうか。</p> <p>当審議会において、広く国民からの御意見も伺うという点では、この機会は有用と考えるので、本年度においても、第2回審議会において実施する方向でよろしいでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>それでは、只今実施することを決めました第2回審議会における意見聴取について、提出があった場合の全体の発表時間・一人当たりの発表時間・発表要旨等の資料の事前提出などの具体的な取扱いと実地視察の実施の有無の2点につきまして、少し検討が必要と思われますが、それぞれの協議室に戻っての協議は必要でしょうか。</p> <p>昨年も実施しておりますので、労使それぞれ既に御意見がまとまっているようであれば、中断することなく、このまま審議を続けたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
労働者代表	<p>例年議論している事ですので、労働者側は事前打ち合わせ済みであり、労側としての意見は既にまとまっていますので、中断せずにこのまま発表したいと思います。</p> <p>審議の参考とすべく、できれば多くの方々のご意見を伺いたいとは思いますが、第2回からは本格的な金額審議も始まりますので、そちらの審議時間も十分に確保すべきかと思えます。例年同様、一人当たり5分として、お二人から発表いただき、全体で10分ということで</p>

	<p>よろしいかと思えます。</p> <p>また、実地調査につきましては、スケジュール的にも委員全員が集まるのは難しいので、今年も実施しない方向でよろしいかと思えます。</p> <p>ただし、これは次年度に向けての意見ということにもなりますが、実地調査をやる方向で考えるのであれば、もっと早めの事業場選定や調整が必要になると思いますので、その辺りは事務局の方でもよろしくお願ひします。</p>
藤井会長	<p>ご意見ありがとうございました。</p> <p>使用者側はいかがでしょう。</p>
使用者代表	<p>使用者側の意見も既にまとまっていますので、このまま発表します。</p> <p>事務局から資料として提出していただいている各団体等からの要請書等については、私ども委員も毎度しっかりと目を通しておりますし、また、当日発表される方々からは、昨年同様、事前に発表要旨をご提出いただければ、その場でそんなに細々とお説明いただかなくとも趣旨は十分に伝わりますので、昨年と同じく一人5分で2名の方に合計10分の時間配分でよろしいかと思えます。</p> <p>なお、実地調査につきましては、ご協力いただける事業所の選定も難しいでしょうし、スケジュール的にも厳しいので、今年も実施しない方向でよろしいかと思えます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、意見聴取及び実地視察について、皆様の御意見を取りまとめますと、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の審議における関係労使からの意見聴取については、意見聴取に係る全体の時間としては10分程度、意見発表者1人当たりの発表時間は5分程度、発言要旨及び資料については、事前に提出していただく。 ・実地視察については、必要性や審議日程を勘案し、本年度も実施しない。 <p>ということでよろしいでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>なお、意見発表をしていただく団体の選定が必要となった場合ですが、時間や準備の都合もありますので、この場合は、会長一任とさせていただきますのでよろしいでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>

藤井会長	<p>それでは、第2回最低賃金審議会において、意見聴取が行えますよう事務局に準備をお願いします。</p> <p>また、発表者から提出された発表要旨等の資料は、各委員にも事前にしっかりと目を通していただきたいと思いますので、事務局は発表要旨等が提出されましたら、速やかに各委員に共有いただくようお願いいたします。</p> <p>次に、議題（4）の「栃木地方最低賃金審議会特別小委員会の設置について」ですが、栃木県特定最低賃金の改正決定を求める申出に係る状況及び特別小委員会について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>栃木県特定最低賃金については、今年2月に6つの産業全ての改正について意向表明がなされ、4月に、事務局において意向表明者に対して改正決定を求める申出書を7月18日までに提出するよう御案内しております。</p> <p>今後、その申出書が提出されましたら、局長より改正決定の必要性について諮問することになりますが、審議会において、改正決定の必要を認める旨の答申には、それぞれ関係労使の合意が必要となります。</p> <p>また、特定最低賃金は最低賃金法第16条に「地域別最低賃金の金額を上回るものでなければならない」と規定されています。</p> <p>しかしながら、ここ数年は地域別最低賃金と特定最低賃金との差が縮小してきている現状にあり、各種商品小売業の特定最低賃金については、令和3年10月1日以降、栃木県最低賃金が適用されています。</p> <p>このような状況を鑑みますと、特定最低賃金の改正の必要性に係る審議については、専門的かつ効率的に審議を行うための機会を確保することが必要と考えられ、栃木地方最低賃金審議会運営規程第3条に基づき、特別小委員会を設置するものでございます。</p> <p>なお、ここ数年は、特別小委員会は設置するものの、特定最低賃金改正の必要性を特別小委員会の場で論ずるまでもなく、第3回本審において労使委員による改正必要性の合意形成が得られ、開催を予定していた特別小委員会も中止としております。</p> <p>とはいえ、現時点において、「今年度はどうなるか」を予測することは不可能でありますし、また、事務局としましても、「やる前提」で準備を進めておきませんと、いざというときに間に合わなくなってしまいますので、第1回のこの場において、特別小委員会設置の要否をご審議いただくということです。</p> <p>以上、よろしくお願いたします。</p>
藤井会長	<p>只今、事務局より説明がありましたが、何か御質問などございますか。</p>
各代表委員	<p>— 質問等なし —</p>

藤井会長	<p>特にないようであれば、今後、特定最低賃金の改正決定を求める申出があったときに、「改正決定の必要性」に関する調査審議を、専門的かつ効率的に行えるように運営規程3条に基づき特別小委員会を設置したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>それでは、特別小委員会を設置することといたします。 この小委員会の運営に関して、「栃木地方最低賃金審議会特別小委員会運営規程（案）」を委員の皆様にお諮りしたいと思います。 この運営規程（案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>— 特別小委員会運営規程（案）説明 —</p>
藤井会長	<p>只今の特別小委員会運営規程（案）について、御意見、御質問などはございますか。</p>
各代表委員	<p>— 質問等なし —</p>
藤井会長	<p>特に御意見などないようであれば、特別小委員会運営規程（案）については、原案どおりとすることよろしいでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>それでは、特別小委員会運営規程について、原案どおり議決することといたします。 この規程は、本日より適用することとします。お手元の運営規程の（案）を削除し、附則の施行期日に「令和7年7月4日」の日付を記入してください。 では、特別小委員会の設置に伴い、委員の選出が必要となります。 委員の構成は、審議会委員の中から労働者代表、使用者代表、公益代表それぞれ3名ずつと考えますが、いかがでしょうか。</p>
各代表委員	<p>— 異議なし —</p>
藤井会長	<p>それでは、この小委員会の委員については会長が指名することとされており、公益を代表する委員は、荻原委員、黒川委員と私、藤井とさせていただきます。 次に労働者を代表する委員及び使用者を代表する委員ですが、この場で協議いただくか、あるいは別室での協議時間は必要でしょうか。 労側はどうでしょう。</p>

労働者代表	はい。既に協議済みですので、このまま発表します。 労側は、伊藤委員、津村委員、私、鈴木の3名でお願いします。
藤井会長	ありがとうございます。 では、使側はいかがでしょうか。
使用者代表	使用者側も決まっております。 時庭委員、井上委員と私、鈴木でお願いいたします。
藤井会長	ありがとうございます。 それでは確認させていただきますが、特別小委員会の委員は、 公益代表委員が、荻原委員、黒川委員と私、藤井。 労働者代表委員が、伊藤委員、津村委員、鈴木徹也委員。 使用者代表委員が、時庭委員、井上委員、鈴木健治委員。 以上9名を特別小委員会委員として指名させていただきます。
各代表委員	— 異議なし —
藤井会長	次に、この特別小委員会は、今後、特定最低賃金の改正決定を求め る申出書の提出を受け、それぞれの申出に関して「改正決定の必要性」 を審議することになります。特に、丁寧な審議が必要となる特定最 低賃金に係る産業については、その産業の関係労使の意見を聴く必要 が生じる場合もあると思います。 この場合は、各代表委員の申出により、関係労使のオブザーバーを 参加させることにしたいと思いますが、いかがでしょうか。
各代表委員	— 異議なし —
藤井会長	それでは、この場合の必要性の判断や、オブザーバーとして参加さ せる関係労使の指名について、申出書の提出時期と特別小委員会開催 までの期間が短いという事情がありますので、審議会運営規程第5条 第3項により会長に一任いただくことでよろしいでしょうか。
各代表委員	— 異議なし —
藤井会長	それでは一任させていただきます。 続きまして、議題(5)の「その他」に進みます。委員の皆様からは 何かございますか。
各代表委員	— 質問等なし —
藤井会長	特にないようであれば、今後の審議会、専門部会、特別小委員会の 日程等について、事務局より説明してください。

事務局	<p>中央最低賃金審議会においては、目安審議に係る諮問が7月中旬に行われる予定となっており、その後、数回の目安小委員会を経て7月末頃までに目安の答申が行われる予定になっております。</p> <p>栃木地方最低賃金審議会としては、第2回審議会を7月31日(木)午後1時30分から開催し、中央で答申のあった目安の伝達を行うとともに、先ほど決議いただきました関係労使からの意見聴取等を予定しております。</p> <p>その後、先ほど決議いただきました栃木県最低賃金専門部会において金額審議を重ねて結審し、出来れば8月5日(火)午後4時から第3回審議会を開催して答申。また、その答申を速やかに公示いたしまして、最賃法第11条第2項に定める公示期間中に異議申し出がなされた場合には、8月21日(木)午前10時から第4回審議会(異議審)においてご審議いただくということを予定しています。</p> <p>なお、先ほど決議いただきましたとおり、専門部会の段階で「全会一致」となれば、専門部会の場において答申まで行ってしまうこととなりますが、特定最低賃金改正の必要性に係る諮問等がございますので、仮に専門部会で全会一致を得られ、答申まで済んだとしても第3回審議会は中止することなく開催いたします。</p> <p>また、第3回審議会における特賃改正必要性の審議次第ではありますが、先ほど決議いただきました「特別小委員会」を8月19日(火)に開催したいと考えております。</p> <p>以上が現時点での予定となっておりますが、中央の審議会における目安の答申が遅れ、栃木の審議会として7月31日に開催を予定している第2回本審での目安伝達に間に合わないといった状況となる可能性もありますし、また、現時点で組んでおりますスケジュールは、地賃の改正発効日を例年同様の10月1日と想定して組んでおりますので、審議の状況によりましては、審議日程にズレが生じる場合や急遽追加開催することになるといった可能性もございます。</p> <p>そういった場合には、委員の皆様へ速やかに連絡し、最新の情報をご提供させていただきながら必要な調整をさせていただきたいと考えておりますので、お忙しいとは存じますが、出来得る限りのご対応の程、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>只今の事務局説明に、何か御質問などありますか。</p>
各代表委員	<p>— 質問等なし —</p>
藤井会長	<p>特に御質問などないようであれば、事務局は中央最低賃金審議会の動向に注視の上、日程その他の必要な情報があれば、各委員に速やかに御連絡くださいますようお願いいたします。</p> <p>最後に、本日の議事につきましては、審議会運営規程第7条第1項</p>

<p>労働者代表</p> <p>使用者代表</p> <p>藤井会長</p>	<p>の規定により議事録を作成し、同条第2項の規定により公開いたします。</p> <p>議事録の内容確認を私その他、労使それぞれの代表委員のどなたかにお願いしたいのですが、どなたがよろしいでしょうか。</p> <p>労側は、私・鈴木でお願いします。</p> <p>使側は、私・鈴木でお願いします。</p> <p>ありがとうございます。それでは、労働者代表は鈴木徹也委員、使用者代表は鈴木健治委員にお願いいたします。</p> <p>以上で、令和7年度第1回栃木地方最低賃金審議会の審議は終了しました。</p> <p>これもちまして、閉会いたします。</p>
---------------------------------------	---